

令和3年度

病害虫発生予察情報

第 8 号

注意報第3号

北海道病害虫防除所 令和3年7月6日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>

Tel: 0123(89)2080・Fax: 0123(89)2082

ばれいしょの疫病が早期に発生！ 防除適期を逃さないように注意しましょう！

北斗市および芽室町のばれいしょ予察ほ場において、平年より早く疫病の初発が確認されました。

札幌管区气象台による7月1日発表の1ヶ月予報によると、8月2日まで降水量および日照時間はほぼ平年並とされていますが、7月10日以降の天候は曇りの日が多いと予報されています。本病は曇雨天が続くとまん延しやすいとされており、今後本病の発生に好適な気象条件となる可能性があります。

6月6半旬の巡回調査において、一般ほでの発生は認められていませんが、本病は初発後急激に病勢が進展することがあるため、ほ場をよく観察し、薬剤の散布開始が遅れないように注意しましょう。

1. 発生地域 全道

2. 予想される発生時期 やや早

3. 予想される発生量 並

4. 注意報発令の根拠

- 1) 予察ほの「とうや」における疫病の初発期は、北斗市で6月25日（平年：7月8日）、芽室町で6月29日（平年7月12日）と平年より早かった。7月5日現在、長沼町（平年初発：7月16日）、訓子府町（平年初発：7月13日）での初発は確認されていない。
- 2) 既に初発を確認した芽室町では、予察ほを対象とした初発期予測システム「FLABS」にて予測された70%信頼区間よりも早い初発であった。北斗市では予測初発日より6日遅い初発であった。長沼町及び訓子府町では、それぞれ平年より10または4日早い予測初発日となっている。
- 3) 7月5日までに全道の25地点のうち、18地点において、「FLABS」での「危険期到達日」に達している。
- 4) 7月5～6日にかけて全道各地で降雨が認められている。
- 5) 7月1日発表の1ヶ月予報によると、8月2日までの降水量及び日照時間は平年並と予報されているが、7月10日以降曇りの日が多いとされており、本病の発生にやや好適な条件と考えられる。

5. 防除対策

- 1) 疫病の初発後は急激に病勢が進展することがある。ほ場をよく観察し、薬剤の散布遅れにならないように注意する。さらに、降雨によって防除適期を失わないよう気象情報にも注意し、防除ガイドに準拠して薬剤散布を行う。
- 2) メタラキシル剤には全道で広く耐性菌が認められているので、薬剤の選択には注意する。
- 3) ダブルインターバル（14日間隔）散布を行う場合は、初発前から散布を開始し、薬剤は14日間隔での指導参考薬剤を用いる。